

## 夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災によって孤児・遺児となった子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

## 2016年春の交流会

- 【実施日】 2016年3月27日(日帰り)  
 【開催地】 仙台市：青葉区中央市民センター、富沢市民センター  
 【参加内訳】 小学生9名、中高生6名、保護者5名、大学生ボランティア23名、社会人ボランティア2名

## 【活動概要】

夏・冬の宿泊キャンプに参加した子どもと心の交流を続けるために、春・秋に被災地で行う日帰り行事も回を重ね、夢のつばさの大事な活動となっています。交流会の行われた仙台は、春の訪れを実感する気持ちの良い一日となりました。

午前中はカレーライス作りを行いました。これは2015年の冬キャンプで、有志の子どもたちが学生と一緒に練った企画です。小さな子が就寝した後も話し合っ、会場のリサーチや集合解散までの時間配分、参加人数の見積もりや小さな子から大きな子まで楽しく参加できるようになど、大学生に助けられながら計画を立ててきました。



青葉区中央市民センターの調理室で、子どもと大学生の6~7人の班に分かれてカレーのルーを作り、ご飯もお鍋で炊きました。学生から小学校低学年まで、それぞれ

エプロンや三角巾をつけて協力して作業を進める様子はとても微笑ましく、小さな子たちも、一生懸命お米を研いだりルーを混ぜたりしていました。全員そろって「いただきます」をするとすぐに、「おいしいね」という声があちこちから聞こえてきました。切り傷や火傷もなく、子どもたちも満足・満腹のカレーライス作りでした。

午後は富沢市民センターに移動し、体育館でドッチボールをしました。3チームにわかれて総当たりで戦いましたが、男の子も女の子も一緒になって盛り上がり、とても白熱したゲーム

になりました。ドッチボールのあとは、体育館内で自由に遊ぶ時間をたっぷりとることができ、バスケットボールや巨大パドミントン、ビーチバレーなどを楽しみました。



トランプで盛り上がっているグループもありました。自由に学生と遊んでいると、子どもたちは本当によい笑顔を見せてくれます。今後もこのようなふれあいを大切にしたいと考えています。

子どもたちがカレーライスを作っている間に、今回ご参加くださった保護者の方々5名と、学生スタッフ4名、社会人スタッフ2名は懇談会を行いました。保護者の方々からは、「継続性のある支援活動は少なく、子どもたちは毎回とても楽しみにして、夢のつばさのキャンプを待っている」、「大勢の大学生が参加している活動ならではの、大学紹介、見学などをもっとしてほしい」などのお話が出ていました。



交流会では保護者と直接お話することによって互いの信頼も深まり、子どもの日常や保護者の方々のお悩み、ご要望も承ることが出来ます。交流会に集まった同じ境遇の保護者同士のつながりも生まれている様子です。過日の夜行バス事故に鑑み、新幹線移動を採用し交通費出費は悩ましいところですが、大切にしたいイベントです。また今回は実施しませんでした。専門家によるカウンセリングの場を設けることも可能で、交流会を今後どのように行っていくか、検討を続けています。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄附のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通 1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※夢のつばさプロジェクトの専用口座です。

ご寄附いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先：事務担当 滝澤公子 TEL&FAX：03-5978-5362 Email：tsubasa@npo-ochanomizu.org